



SHIPS と追手門学院が「新たな船出」をテーマに連携 第 1 弾は大学生向けアパレル 11 月 1・2 日の学園祭で販売

学校法人追手門学院（大阪府大阪市、理事長：田口順一）は、セレクトショップ「SHIPS」を展開する株式会社シップス（東京都中央区、代表取締役社長：原裕章）と共同プロジェクト「SAIL THROUGH THE GATE」を立ち上げました。第 1 弾として、2026 年に創立 60 周年を迎えた追手門学院大学の学友会組織「追風」とコラボレーションし、大学生を主なターゲットとしたスウェットやパーカーを制作しました。完成した商品は、11 月 1 日（日）、2 日（月）に開催する大学の学園祭で販売します。

特設サイト URL: <https://www.otemon.ac.jp/ships/index.html>



共同プロジェクト「SAIL THROUGH THE GATE」

本プロジェクトは、追手門学院大学の創立 60 周年を機に、追手門学院が培ってきた学びと、シップスが発信してきたファッションカルチャーを掛け合わせ、新たな節目から未来へ踏み出す取り組みとして企画したものです。シップスは 2025 年に設立 50 周年を迎え、追手門学院も 2028 年に創設 140 周年を迎えることから、両者がこれまで培ってきた教育とファッションの文化を次の時代につなぐ「新たな船出」をプロジェクトのモチーフとしています。

この「船出」というテーマは、追手門学院大学のキャンパスともつながっています。三角形の外観が特徴の茨木総持寺キャンパス「Academic Ark」は、「Ark＝箱船」の名を持ち、大学創設 60 周年から学院創設 140 周年へ向けて、学生や教育・研究をはじめとする「未来を運ぶ」という意味が込められています。

プロジェクトの第 1 弾では、追手門学院大学の学友会組織「追風」と SHIPS がコラボレーションし、大学生が日常的に着用できるスウェットやパーカーを制作しました。これらの商品は、11 月 1 日（日）、2 日（月）に開催する学園祭で販売するほか、同プロジェクトでは T シャツも制作しており、地域イベントなどで配布しています。

今後は、大学生に限らず、学院に関わる幅広い世代や関係者を視野に入れたプロジェクトの展開を検討しています。追手門学院では、こども園から大学院まで約 1 万 5 千人の学院生が学んでおり、一方の SHIPS もメンズ、ウィメンズ、キッズなど幅広い世代に向けた商品を展開しています。こうした両者の特徴を生かし、今回の大学生を対象とした取り組みを第 1 弾として、今後は学院内の幅広い世代に向けた商品制作などを検討していきます。

【販売情報】

追手門学院大学学園祭の詳細はコチラ: <https://o-temongakuensai.com/>

日時: 2026 年 11 月 1 日（日）、2 日（月）10:00-15:00(学園祭販売時間中、販売数終了次第終了)

場所: 追手門学院大学茨木総持寺キャンパス（大阪府茨木市太田東芝町 1-1）

販売商品: OTM スウェット:100 点、OTM スウェットパンツ:100 点、OTM スウェットパーカー:100 点

この資料の配付先: 大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL: 072-665-9166 織田・所